

## ◆短期入所事業開始のご案内

6月よりホームすずらんで短期入所事業を開始いたしました。短期入所事業を行なっている場所は、グループホーム「みらい」の中です。改築して、短期入所専用の居室を1部屋設けました。定員は1名です。法人としては初めての試みで、手探りでのスタートです。現在は緊急時の利用に備えて、体験利用をお願いしています。詳細は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。



(短期入所の個室と多目的室)

ホームすずらん TEL: 042-711-9101

## 10月、12月開催 地域交流イベントのお知らせ



### フェスタすずらん2019

日時：10月26日(土) 10時開始

会場：グリーンハウス(すずらの会)

模擬店、バザー、抽選会、ステージパフォーマンス

出演：光明学園 相模原高等学校 和太鼓部

トランペット吹きのタカパーチ

シャルル(パトマル)

楓響ウインドオーケストラ (アソガル)

Magician TOMOYA (マジック)

タートルズ (演奏/すずらの会タートルより)



### ピュアハート作品展

日時：12月10日(火)~14日(土)

会場：相模原市立市民健康文化センター  
(ふれあい広場)

※10日13:00から 14日15:00終了



### クリスマスライブ

日時：12月14日(土)

13時開演~15時

会場：相模原市立市民健康文化センター(ふれあい広場)

出演：楓響ウインドオーケストラ

山名田 愛依 (声楽)

小林 千夏 (ピアノ)

### 編集後記

今回は“働く”をテーマにすずらの会を利用されている方への取材も行い、様々な働く姿をご紹介いたしました。今号の編集を終え、今後も充実した支援を続けて行こうと気が引き締まる思いです。

(広報委員会)

ご厚意に感謝申し上げます

(寄付)スリーエムジャパン労働組合 相模原支部 様

毎年、ご寄付いただきまして誠にありがとうございます。福祉事業に対するご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

広報すずらんへ掲載させていただく方々の他、地域活動への招待や授産作業のご紹介、設備品・玩具・本の寄贈など年間を通して多くのご支援を頂いております。この場をお借りして御礼申し上げます。

## 特集『学ぶ・働く・暮らす・楽しむ』

73号は特集テーマの中から“働く”にかかわる支援に着目して、法人内の様々な働く姿をご紹介いたします。

### 福祉サービスを受けながら働く一働き続ける一

すずらの会を利用されている方々には、企業に就労している方、企業就労を目指している方、事業所内で働く方がいらっしゃいます。すずらの会は法人設立当初より障害のある方が様々な形で“働く”ことが社会参加の手段として重要であると考え、活動してきました。

現在、就労継続支援B型事業・生活介護事業の多機能型事業所として運営しているすずらの家は、1982年に地域作業所として開所した法人の原点となる事業所です。

一般就労につながる場でもありますが、利用期限が無く、年齢を重ねてもサポートを受けながら働き続けることができるという特性もあり、中には25年以上にわたり利用されている方もおられます。

すずらの家は主に焼き菓子(クッキー・ケーキ等)の製造、店頭販売及び出張販売等を行っていますが、企業からの受注作業(ネジの組み付け・梱包等)も行っています。製菓作業では、材料の卵を拭くことから始まり、計量、ミキサーでの攪拌、成型、オーブンでの焼成、出来上がった商品の袋入れ、接客、販売といった一連の流れを、担当毎に行っています。全ての工程に従事できることが理想ではありますが、徐々に新しい作業種に挑戦する形で、得意な分野で力を発揮していただけるような体制をとっています。こうした自主製品の販売を通して、お客様の『美味しかった』という言葉を生で聞いたり、対面で笑顔を見られることが、人や社会とのつながりを実感し、働くことの喜びや工賃を得る喜びに繋がっています。さらには、生活習慣を維持するのに良い影響をもたらしています。



(お会計の様子)

すずらの家で製菓・販売のお仕事をしている方にお話をうかがいました。

(30代女性)

#### ①現在すずらの家ではどんな仕事をしていますか？

焼きあがったクッキーを天板から取り込んで袋に入れたり、使い終わった天板を拭くオープン班の仕事をしています。サブレの型抜きもだんだん上手になってきました。オープンの周りは暑いときもありますが、頑張っています。あとは老人ホームなどでの販売です。お客様が来たときは、「いらっしゃいませ」と声をかけてトレーを渡しています。販売のお仕事はとても楽しいです。

#### ②もらったお給料はどんなことに使っていますか？

グループホームの生活費として使います。その中から自分のお小遣いとしてもらったぶんは、休みの日にガイドヘルパーさんとお出かけに行った時に使います。ヘルパーさんとはカラオケやボウリング、お買い物ものに行ったりしています。

#### ③すずらの家のおすすめの商品はありますか？

シフォンケーキです。色々な種類があります。



(シフォンケーキを勧める様子)

次ページへ続く

### 就労し続けられるように—就労定着支援—

企業就労に向けた訓練をされている方は、企業就労が一つの目標となりますが、就労してからが本当のスタートとなります。就労の定着に関しては就労先の作業環境のマッチングがとて重要になる為、個々のペースに合わせた就労までの訓練と、その人に合った職場の選定が必要になります。また、就労後も就労定着支援を活用することで、会社と本人の間に支援者が立ち、作業環境の調整や改善提案等、本人が働きやすい環境を整えていくことで安定した就労の継続をサポートしています。定期的に就労先を訪問し、仕事の様子を見て、本人や環境の変化はないかなどを確認します。また、就労された方と面談をして、現在の仕事の様子について話を聞き、悩みや困った事などがなければ確認します。企業担当者とも話をし、就労された方の様子を聞き、心配していることや企業側が感じている問題はないかなどを確認します。

すずらんの会ではこれまでも自主事業として職場定着支援を長年行ってきましたが、2018年4月より、障害者総合支援法に基づく制度として就労定着支援事業が始まりました。それに伴い、2018年10月より制度としての就労定着支援事業も開始しました。

就労移行支援事業を利用したのち就労された方々に、実際に仕事をする上で感じていることなどについてお話をうかがいました。

(20代男性)

#### ①どのような仕事をしていますか？

主に、紙媒体で保管されているデータを、パソコンを使いPDF化する仕事をしています。

#### ②事業所を利用していた時と会社で働く時と違いはありますか？

朝起きる時間が早くなりました。遅刻をしないので、寝る時間を決めたりして、早く起きるようにしています。

#### ③給与の使い道は？

初任給をもらった時、金額の高さにとてもびっくりしました。趣味のゲームを買ったり、散髪したり、お昼ご飯に使ったりしています。今まで、散髪などは親にお金を出してもらっていましたが、今は自分のお給料を使うようにしています。初任給が出た時、家族にケーキを買って帰りました。とても喜んでくれました。あと、貯金もしています。

(20代女性)

#### ①どのような仕事をしていますか？

駅や、駅員さんの事務所の清掃の仕事をしています。

#### ②この会社で良かったと思う所は何ですか？

どこが分からないのか聞いてくれて、分かるまで教えてくれるところです。また、相談にものってくれます。

#### ③就労定着支援事業を利用してよかったと思うところはありますか？

就労支援の職員さんに面談とかで話を聞いてもらって落ち着きます。話を聞いてもらえるのは良かったと思います。

今回インタビューを行った方々は、就労後も前向きに生活されている様子がうかがえました。支援者として、今後も就労された方が安定して働き続けられるように支援していきたいと思っています。

### 意欲の維持と動機づけ・調整

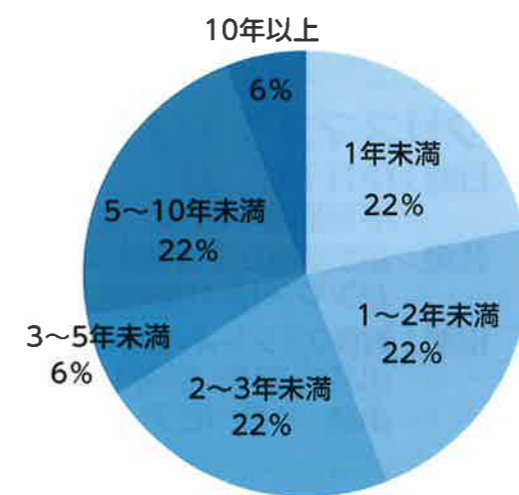
企業へ就労した方々が長く働き続けられるように支援することが前提ですが、時には体力面・精神面・環境の変化などで退職を考える方もおられます。その方が新しい環境での就労に対して前向きな気持ちを残しておくよう、引き際も考えながら寄り添うことが支援者の大切な役割です。

### 就労系多機能事業所の利点と役割

すずらんの会では企業就労に特化した事業所として、ワークショップ・フレンド、ワークセンターやまと、大和市障害者自立支援センターの3か所が開設されています。今回は多機能型のワークセンターやまご紹介をいたします。就労移行支援事業、就労継続支援B型事業、就労定着支援事業の3つの就労系事業を多機能で実施しているワークセンターやまとでは、利用される方は様々な形で「働く」ことを視野に入れ就労移行支援事業（利用期限原則2年間）から利用を開始します。働く上で必要な社会性やマナー、作業能力、体力を身につける過程では、企業からの受注作業を中心に取り扱い、施設内をより企業に近い環境にすることで、働く上で必要なスキルを実体験し、具体的にイメージしやすくしています。また、施設内の訓練だけではなく、次のステップとしてご協力いただいている企業の実際の作業場（施設外就労）で訓練に取り組むことで、対人面や地域社会等も含めた毎日が、企業で働くイメージを掴む実践になり、企業就労へのステップアップとなります。

就労までの施設利用期間は利用されている方によって様々です。就労系事業を多機能で実施するワークセンターやまとの場合には、就労移行支援の利用期限が迫った場合にも、就労継続支援B型事業（利用期限なし）の利用へと切り替える事で、引き続き長期的な支援を受ける事が出来ます。下記の図（参考1※ワークセンターやまと）で示したように、2016年度以降に就労した5割以上の方は2年～10年以上の準備期間を経て就労されています。利用期限に定めのない就労継続支援B型事業の特徴を最大限活用しながら、「就職したい」という一人ひとりの思いやニーズ、ペースに合わせた支援を提供することができる事業所です。また、就労継続支援B型事業では、「働く」ことの対価として利用者が高い工賃を得ることも目標のひとつとして取り組んでいます。そのような理由もあり、就労移行支援事業と就労継続支援B型事業の訓練内容は同じにしています。

中には、一旦就職したのちに様々な理由から離職し、再び就労移行支援事業を利用される方もおられます。その場合にも、本人と職員とでしっかりと離職理由を振り返り、業務内容や人間関係、職場環境などの課題点を整理し、再就労に向けて目標を決めて取り組んでゆきます。人によっては離職したことにより働くことに対してモチベーションが低下してしまう場合もあり、そのような時には慣れ親しんだ施設利用で、まず基本的な生活リズムへ整えることがとても大切になります。



(参考1※ワークセンターやまと)  
就労までの利用期間と就労者の割合  
※2016年度以降の就労者18名

就労されたのち、再び就労移行支援を利用されている方にお話をうかがいました。

(20代女性)

#### ①現在は何のような仕事をしていますか？

ワークセンターやまと内ではなく施設外就労（企業内）に参加して、工場内の清掃やコンテナの折り畳み作業をしています。清掃では、しっかりと雑巾をしぼることを頑張っています。

#### ②施設外で働く経験をする事は、自分にとってどんな良いことがあると思いますか？

職員ではない知らない人がたくさんいるところなので少し緊張します。でも、あいさつをしっかりとしようという目標を立てて頑張っています。

#### ③ワークセンターやまとに所属していることで良かったと感じることはありますか？

一度目の就労先で少し疲れたなと思っていたときに、親に相談してワークセンターやまとに戻れたときは、知っている職員さんにもまた会えたりしてちょっと安心しました。

#### ④今、やってみたいと思う仕事はありますか？

ドライフラワーを使ってハーバリウムを作る会社の見学に行ったのですが、そういうお仕事をやってみたいなと思いました。

#### ⑤今後、就労した後に考えていることはありますか？

お給料がもらえた後は、お母さんと一緒に国内や海外を旅行してみたいです。今も休日はヨガ体操や可愛い動物の動画を観たりしてリフレッシュしています。ゆっくり自分に合った仕事を選んでいきたいと思っています。

#### ⑥仕事を選ぶときに大事にしたいポイントはありますか？

あまり乗り換えが多かったり、混み合う電車に乗るのは大変だと思います。あとは会社に人が多すぎない方が楽に感じます。あと、上司が優しい職場が良いです。

### 【まとめ】

今回ご紹介したように「働く」かたちは利用されている方によって様々あります。どの場においても、その方が持っている力や意欲を最大限に引き出し、働く喜びを感じてもらえるように支援しています。今後も、みなさまの「働く」ことの支援を充実させるべく、努力して参ります。